

# 施策評価調書(内部評価結果)

整理番号 14

■ 総合計画(後期基本計画)

政策名	Ⅲ 健やか安心都市
施策名	③ 患者本位の医療体制の充実

所管部局	所管部局長の氏名
医療部	梅田 純市

1 関連する個別計画 **PLAN**

個別計画名称	計画概要	計画年次	計画期間	備考
なし				

2 施策目的

優先順位	現状においてどのような問題や課題があって(何のために)	『何を対象に』、『どのようなことを行うことで(又はどのような手段で)』	どのような状態にしたいのか	関連する施策方針
1	将来にわたり市民生活を安心・安全なものするために	保健、医療及び福祉の緊密な連携により	地域包括医療を推進する。	1 地域包括医療の推進 2 医療機関の充実と連携
2	将来にわたり市民生活を安心・安全なものするために	医師・看護師等の医療従事者の確保を図ることで	格差のない安心の医療体制の充実に努める。	2 医療機関の充実と連携 5 医療従事者確保対策の充実
3	将来にわたり市民生活を安心・安全なものするために	市立病院の現行の経営水準の維持発展を図ることで	持続可能な市立病院経営に努める。	4 市立病院事業経営の健全化

3 目標値など

総合計画	めざす目標	指標名	総合計画作成時 (H17)		後期基本計画作成時 (H20)		直近年度実績値 (現状)		目標 (H26)	
			年度	年度	年度	年度	年度	年度		
	救命機器の設置を進めます	除細動器(AED)の市施設設置数	0台	H16	22台	H20	119台	H25	80台	H26
	病院事業経営を健全化します	経常収支比率	新規	-	98.2%	H20	98.6%	H25	101.8%	H23
		職員給与費比率	新規	-	60.2%	H20	59.5%	H25	56.9%	H23
	医師、看護師等の安定的確保対策を進めます	医療確保奨学金等の貸付件数(医師)	新規	-	3件	H20	6件	H25	5件	H26
		医療確保奨学金等の貸付件数(看護師)	新規	-	0件	H20	6件	H25	6件	H26

個別計画	個別計画名称	指標名	説明・備考	計画策定時	直近年度実績値 (現状)		目標	
					年度	年度	年度	年度
	なし							

4 構成事務事業・評価結果一覧

**DO**

**CHECK**

施策方針	事務事業 事業内容(実績)	担当課	予算額(単位:千円)		事務事業の概要								施策評価結果				
			H25決算額	H26予算額(一般財源)	根拠法令	財政負担	単独事業	事業種別	対象	実施手法	関与必要性 数値	説明	施策目的	施策貢献度	今後の方向性		
1 地域包括医療の推進	保健・医療・福祉の関係団体、行政、消防組合等で組織する「丹後地域保健医療協議会」において連携を推進(京都附が主催、予算を伴わない事業のため非計上)																
2 医療機関の充実と連携	1 地域医療体制整備補助金	医療政策課	24,922	14,665(4,665)	なし	単費	○	サービス	事業者	補	4	民間補完福祉増進	2	A	統合(整理)		
	2 救急医療体制強化補助金	医療政策課	3,000	-	なし	単費	○	サービス	事業者	補	4	民間補完福祉増進	2	A	終了・廃止		
	3 公的病院等運営事業補助金	医療政策課	-	26,000(26,000)	平成26年度新規事業												
	4 休日応急診療事業	医療政策課	3,675	3,751(3,751)	なし	単費	○	サービス	事業者	委	4	民間補完福祉増進	2	S	現状維持		
	5 医療対策一般経費【方針4にも該当】	医療政策課	350	837(837)	なし	単費	○	内部管理	-	-	-	-	1,2,3	A	現状維持		
3 医療における防災体制の充実	大規模災害に備え、北丹医師会と「災害時における医療救護活動に関する協定」を締結するとともに、市立病院と京都府立医科大学北部医療センターとの間において災害時等緊急時の支援協定を締結した。(予算を伴わないため非計上)																
4 市立病院事業経営の健全化	1 医療対策一般経費【再掲】方針2	医療政策課	350	837(837)	なし	単費	○	内部管理	-	-	-	-					
5 医療従事者確保対策の充実	1 医療確保奨学金貸与事業	医療政策課	15,000	15,000(15,000)	市規定	単費	○	サービス	他	他	2	特定サービス	2	S	現状維持		
		計	46,947	60,253(50,253)													

※ 合計金額には再掲事業を含んでいません。

5. 歳出抑制の考え方について

**ACT**

施策における歳出抑制の考え方	No.	歳出抑制の考え方 (平成27~29年度までの3か年で取り組む歳出抑制)	一般財源抑制見込額 (単位:千円)	補完・代替措置などがある場合は、その内容
	1	地域医療体制整備補助金の一部について、平成26年度から公的病院等運営補助金(救急告示病院)に改め、特別交付税措置を活用し財源確保を図る。	未定	

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	01地域医療対策事業																
細事業名	01 地域医療体制整備補助金			決算書	P.176															
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	③ 患者本位の医療体制の充実																
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																
24,922千円	24,987千円	65千円	99.7%	24,987千円																
目的	民間病院・診療所が行った施設整備等に対して支援を行い、市民が安心して生活できる医療環境を確保する。																			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>地域医療を支える病院や医療提供の困難な地域にある診療所について、施設及び設備整備に係る借入金利子の一部等を対象経費として、補助金を交付した。</p> <p>交付先医療機関及び交付額 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>法人・医療機関名</th> <th>所在地</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公益財団法人 丹後中央病院</td> <td>峰山町杉谷</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>特定医療法人三青園 丹後ふるさと病院</td> <td>網野町小浜</td> <td>4,922</td> </tr> <tr> <td>医療法人愛心会 宇川診療所</td> <td>丹後町久僧</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>24,922</td> </tr> </tbody> </table>					法人・医療機関名	所在地	交付額	公益財団法人 丹後中央病院	峰山町杉谷	10,000	特定医療法人三青園 丹後ふるさと病院	網野町小浜	4,922	医療法人愛心会 宇川診療所	丹後町久僧	10,000	合計		24,922
	法人・医療機関名	所在地	交付額																	
公益財団法人 丹後中央病院	峰山町杉谷	10,000																		
特定医療法人三青園 丹後ふるさと病院	網野町小浜	4,922																		
医療法人愛心会 宇川診療所	丹後町久僧	10,000																		
合計		24,922																		
主な財源	府補	未来づくり交付金（地域医療体制整備補助金）		6,000千円																
	市債	過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債）		10,000千円																
評価・課題等	<p>○地方の医療機関を取り巻く環境は依然厳しいながらも、対象となる民間医療機関のサービスは維持されており、地域の医療環境が確保されている。</p> <p>○引き続きの支援とともに、医療圏における医療体制確保のため、地域連携や国府等への要望等に努める必要がある。</p>																			
事業所管課	医療部／医療政策課																			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	01地域医療対策事業							
細事業名	02 救急医療体制強化補助金			決算書	P.176						
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	③ 患者本位の医療体制の充実							
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額							
3,000千円	3,000千円	0千円	100.0%	3,000千円							
目的	民間の救急告示病院に対し、救急診療を実施する上で必要な経費の一部について補助を行い、市民が安心して生活できる救急診療体制を確保する。										
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>救急告示病院において、救急医療を実施するうえで必要となる医師及び看護師の待機に係る費用を対象経費として補助金を交付した。</p> <p>交付先医療機関及び交付額 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>法人・医療機関名</th> <th>所在地</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公益財団法人 丹後中央病院</td> <td>峰山町杉谷</td> <td>3,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※対象経費：11,635千円（補助率1/3以内）</p>					法人・医療機関名	所在地	交付額	公益財団法人 丹後中央病院	峰山町杉谷	3,000
	法人・医療機関名	所在地	交付額								
	公益財団法人 丹後中央病院	峰山町杉谷	3,000								
主な財源											
評価・課題等	<p>○市内救急医療は、市立2病院と民間1病院で支えている。現実、救急医療を市立2病院のみで支えることは、経費面、施設設備面及び人員面などから難しく、補助対象医療機関の貢献により救急医療体制を維持することができた。</p> <p>○救急医療体制を確保するためには引き続き支援をする必要があるとともに、市立病院においては医師等の体制の確保が課題である。</p>										
事業所管課	医療部／医療政策課										

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	01地域医療対策事業				
細事業名	03 休日応急診療事業			決算書 P.176				
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	③ 患者本位の医療体制の充実				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額				
3,675千円	3,675千円	0千円	100.0%	3,675千円				
目的	休日における急病患者の診療業務について、市内の医療機関に委託し実施することにより、市民が安心して生活できる救急診療体制を確保する。							
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>休日や年末年始における急病患者の診療業務について、医療機関に委託し実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施医療機関 丹後ふるさと病院、上田医院、中江医院、市立弥栄病院、市立久美浜病院</li> <li>・実施日数 71日（日曜、祝日、年末年始）</li> <li>・診療時間 午前9時から正午、午後2時から午後5時</li> <li>・延べ患者数 1,055人</li> </ul> <p style="text-align: right;">(単位：千円)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>業務内容</th> <th>委託額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>休日応急診療業務委託料</td> <td>3,675</td> </tr> </tbody> </table>				業務内容	委託額	休日応急診療業務委託料	3,675
業務内容	委託額							
休日応急診療業務委託料	3,675							
主な財源								
評価・課題等	<p>○休日・年末年始において応急的な診療を受けられる医療機関を確保することができた。</p> <p>○休日診療所を開設している他の自治体もあるが、本市では、開設に係る費用面をはじめ、医師、看護師等の医療スタッフの確保が非常に難しい状況である。よって、業務委託で実施することが費用対効果の面でも有効であると考え、実施協力医療機関の確保が難しくなっている。</p>							
事業所管課	医療部／医療政策課							

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	50医療対策一般経費
細事業名	01 医療対策一般経費			決算書 P.176
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	③ 患者本位の医療体制の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
350千円	384千円	34千円	91.1 %	917千円
目的	地域医療の充実と市立病院・市国保直営診療所の運営、調整のための一般経費			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>地域医療の充実と市立病院及び市国保直営診療所の医療体制の拡充、経営改善等のために必要な業務を行い、所要の経費を支出した。</p> <p>○ 市立病院経営改善専門委員設置経費 147 千円  (年間勤務24日、委員1人)  報酬 (9,000円/1日、6,000円/半日)</p> <p>○ その他の経費 203 千円  医療確保を目的として、京都府立医科大学等の大学関係者や医療関係者を訪問するための職員の出張経費等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員出張のための普通旅費 116 千円</li> <li>・消耗品費 (書籍、事務用品等) 46 千円</li> <li>・燃料費 (公用車燃料代) 10 千円</li> <li>・有料道路通行料 31 千円</li> </ul>			
主な財源				
評価・課題等	<p>○市立病院経営改善専門委員からは、経営に対する助言や薬剤調達に関するコスト削減などの指導を受け、経営改善の一助となった。</p> <p>○引き続き医師の招へいに向けた情報収集や要望活動を展開し、さらなる医療提供体制の充実に努める必要がある。</p>			
事業所管課	医療部/医療政策課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	04医療確保奨学金等貸与事業	
細事業名	01 医療確保奨学金貸与事業			決算書	P.176
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	③ 患者本位の医療体制の充実	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
15,000千円	15,000千円	0千円	100.0%	12,600千円	
目的	市立病院等の地域医療機関における医師の業務に従事しようとする意思を有する者に対して奨学金を貸与し、市の医療体制の充実に必要な医師の確保を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>将来、市立病院等の市内医療機関に医師として勤務する意思を有する研修医及び医学生に対し、奨学金を貸与した。</p> <p>○医療確保奨学金貸与事業 15,000 千円</p> <p>貸与者：6人</p> <p>貸与期間：平成25年4月～平成26年3月</p> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般医師志望者（小児科、産婦人科以外）5人 月額200千円×12月×5人＝12,000千円</li> <li>・小児科、産婦人科医師志望者 1人 月額250千円×12月×1人＝3,000千円</li> </ul>				
主な財源					
評価・課題等	6人中5人は医学生への貸与であり、実際の医師体制の充実に年数を要するが、1人は研修医で次年度に入職している。				
事業所管課	医療部／医療政策課				